

平成28年度当初予算案

(平成27年度2月補正予算案を含む)

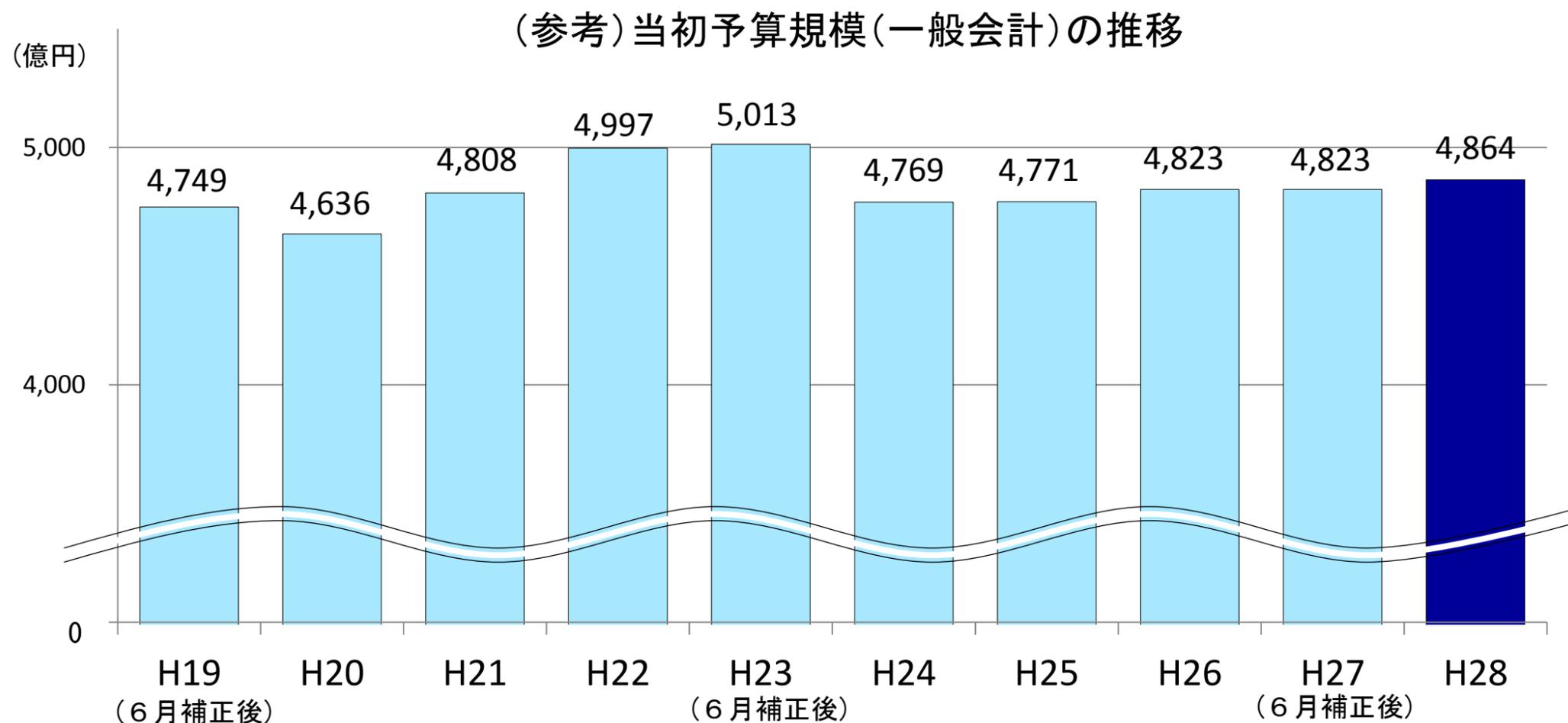


福井県

平成28年度当初予算案の規模

◎ 一般会計の予算規模は **4,864億円** (対前年度比0.9%増)

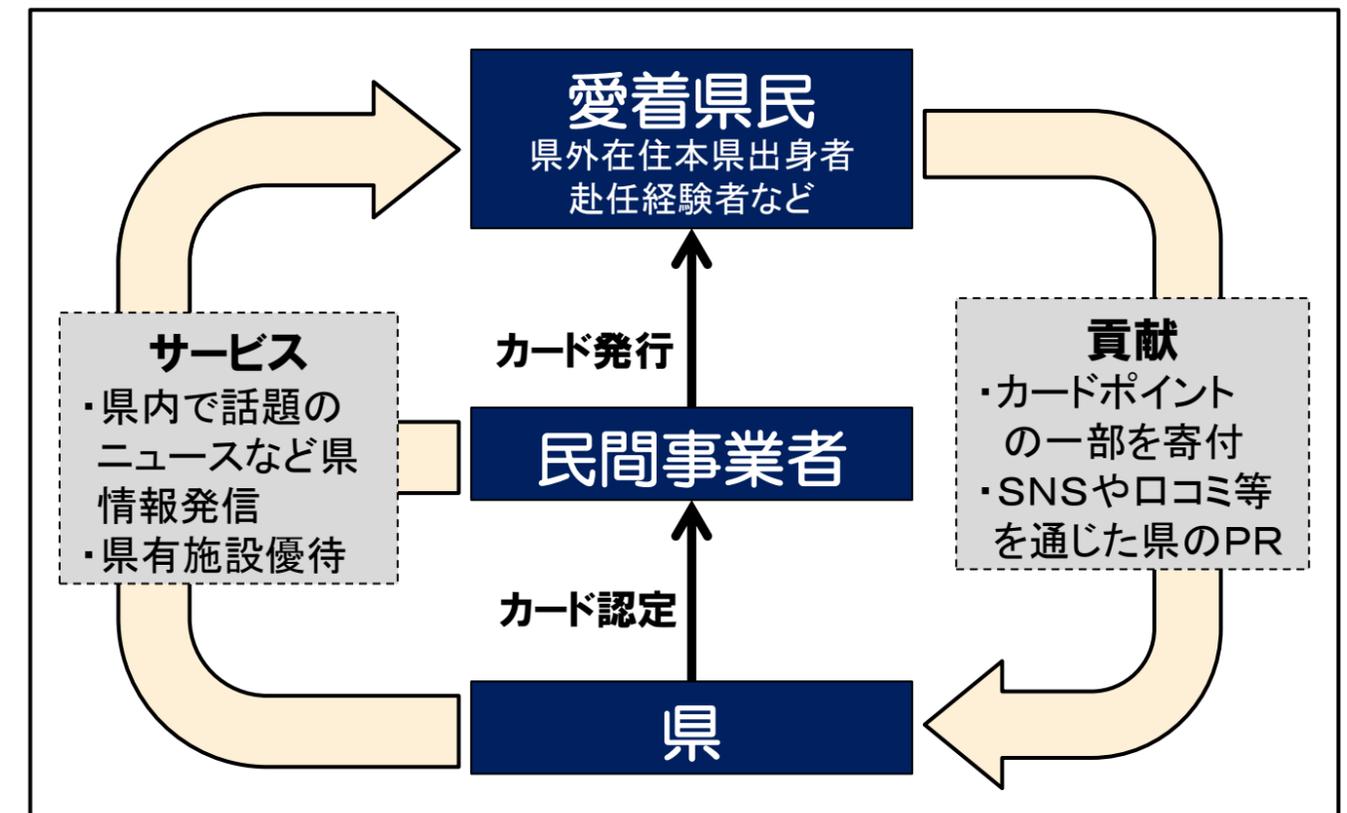
会計区分	28年度 当初(案) ①	27年度 6月現計 ②	増減 (①-②) ③	伸び率 (③/②)
	億円	億円	億円	%
一般会計	4,864	4,823	41	0.9
特別会計	151	126	25	19.9
企業会計	369	356	12	3.5
計	5,383	5,305	79	1.5



1 ふくい創生・人口減少対策

「愛着県民」プロジェクト（8百万円）【主要事業P57】

- ・ 県外在住の本県出身者や赴任経験者など、福井にゆかりがある人を「愛着県民」と位置づけ、ふるさと情報を継続的に発信
- ・ 幸福アイテムを全国に発信し、愛着県民を増やすことにより、将来の移住・定住につなげる



【 愛着県民カードのしくみ 】

<愛着県民プロジェクト>

- ・ 愛着県民大会（仮称）の開催
- ・ 寄付機能や情報発信機能を持つ「愛着県民」カードの普及

<幸せ巡遊プロジェクト>

- ・ お寺や神社など幸福スポットを巡るツアーコースの創出
- ・ 「幸福日本ーふくい」を印象づけるキャッチコピーの制作

「ふくい希望と幸福」実践推進事業（10百万円）【主要事業P57】

- ・ 県民に希望と幸福をもたらす活動等を実践する個人やグループを「ふくいの幸福人（こうふくびと）」として顕彰
- ・ 県民参加により「ふくいの希望」実現プロジェクトチームを作り、目標や活動内容等について企画・検討・実践



【バドミントン 山口選手】

「ふくいの希望」実現プロジェクト（例）

- ・ 若者の夢実現プロジェクト
競技かるた全国優勝やプロ棋士を目指す若者の夢を実現
- ・ 県民応援団結成プロジェクト
オリンピックに出場する本県出身選手を応援する県民応援団の結成

学生U・Iターン就職活動支援事業（29百万円）
社会人U・Iターン就職拡大事業（37百万円） 【主要事業P1】

＜学生のU・Iターン促進＞

県内企業の魅力を紹介する合同企業説明会等を開催

＜社会人のU・Iターン促進＞

都市圏において本県企業の仕事内容等を具体的に紹介

県外大学・短大進学者 2,700人/年
有効求人倍率 1.64 （全国2位）（平成27年12月現在）



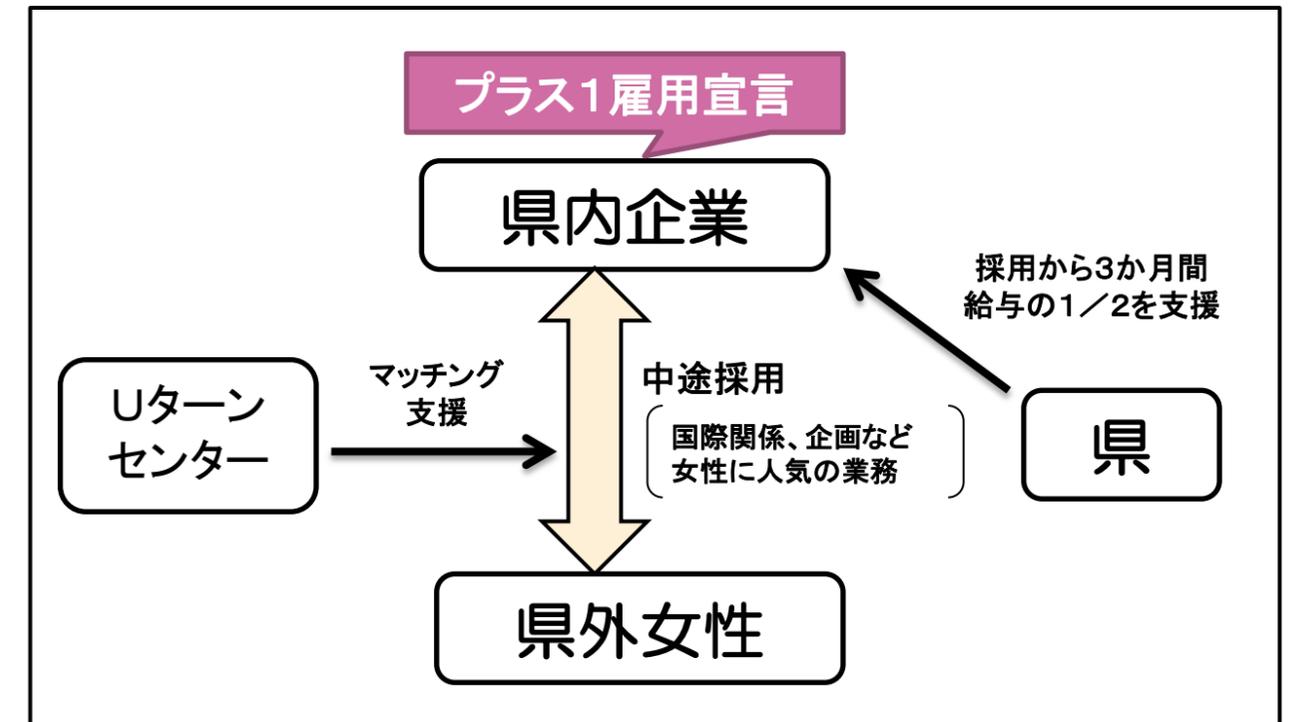
【学生と就活女子応援員との交流会】

- 就職支援協定締結校等の学生とUターン就活先輩との交流会の開催
- 理系女子学生を対象とした県内企業研究会の開催
- 都市圏において仕事の相談をトータルに行う移住フェアの開催
- 民間の転職サイト、転職フェアにおいてU・Iターン求人情報を発信

プラス1女性雇用企業支援事業（10百万円）【主要事業P2】

＜女性を中心としたU・Iターン就職の促進＞

- ・ 県内企業において「プラス1雇用運動」を展開
- ・ 特に、女性の雇用を拡大した企業を支援



【プラス1女性雇用のしくみ】

「プラス1雇用」推進協議会の設置

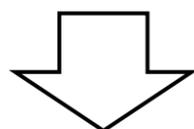
- ・ 「プラス1雇用」を宣言する企業を募集
- ・ 県と宣言企業、商工団体で構成する推進協議会を設置し、Uターン者の雇用拡大に向けた対策を実行

「プラス1雇用」の実績を上げた企業への支援

- ・ U・Iターンの女性を事務職等に中途採用した企業に対して、3か月間の給与等を助成

U・Iターン奨学金返還支援事業（31百万円）【主要事業P1】

- ・ 県外大学生を対象に奨学金返還負担を軽減



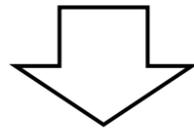
本県へのU・Iターン就職へ誘導

「福井県奨学金返還支援基金」の概要

- ・ 対象者 日本学生支援機構奨学金を借りている者で、県外大学等を卒業し、
県内企業に就職する者のうち、次に該当する者
農林水産系、建設系、情報系の学部を卒業し、各学部の
関連分野に技術者として就職する者
薬剤師、看護師、歯科衛生士として就職する者
- ・ 対象人数 30人／年
- ・ 助成額 通常のリターン額のリターン額5年分
(上限20万円/年、最大100万円/人)

大学連携センター運営事業（28百万円）【主要事業P3】

- ・「大学連携センター」を、4月9日（土）アオッサ7階にオープン



- ・ 県内各大学が連携して実施する共通科目の開講
恐竜学、福井の偉人や歴史、企業の活動を学ぶ
講座など30科目を開講
- ・ 学生の地元定着、県内就職の促進
- ・ 学生の地域活動や大学間交流の推進



【共通開講科目(恐竜学)イメージ】

<講座の開講支援>

- ・ ビジネス現場で役立つアジア系言語や特色ある英語科目の開講を支援
- ・ 共通開講科目において、特別講師による講座を支援

<学びやすい環境整備>

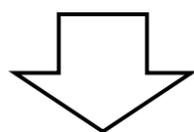
- ・ 各大学と大学連携センターを結ぶシャトルバスの運行を支援

「新ふるさと創造」推進事業（170百万円）【主要事業P58】

〔27年度〕県、全市町が地方創生戦略を策定

〔28年度～〕

各市町の課題に対応した、まちづくりや人・モノの誘致など特色ある施策を支援



県、市町が一体となった
地方創生や人口減少対策の推進



【学生と地域住民によるまちおこしイベント】

市町の地方創生総合戦略に位置づけられた地方創生・人口減少対策を支援

- ・ 総 額 10億円（28～31年度の4年間）
- ・ 支援分野(例) 学生を対象とした、ものづくり体験やまち歩きイベント等の開催
空き家となった町家を活用した、まちなか居住モデル住宅の整備
高校生による地元商店のPRポスターづくり 等

県民・メディア参加型結婚ポジティブキャンペーン（11百万円）【主要事業P3】

【結婚ポジティブキャンペーン】

- ・メディアを活用し県民全体の結婚を前向きに考える
機運を醸成



【いいね！結婚ふくいキャンペーン】

- ・「いいね！結婚ふくいキャンペーン」CMを映画館で放映
- ・結婚機運を醸成するキャッチコピーCMを新たに制作

【「ハッピー・デート」プロジェクト】

- ・恋人や夫婦で出かけることが当たり前となる文化を根付かせる

- ・恋人や夫婦を対象としたサービスを行う「ハッピー応援協賛店」を募集
- ・カップルで出かけやすいイベント開催を支援

めいわくありがた縁結び地域・職域拡大事業（15百万円）【主要事業P4】

- ・ 地域において縁結び活動をする方を「地域の縁結びさん」として登録
- ・ 企業・団体内の「職場の縁結びさん」が職場のつながりを活かした出会いを応援



【「ふくい結婚応援企業」登録証交付式(H27.9.7)】



【越前市大瀧神社での挙式】

<地域の縁結びさん>

- ・ 寺社の住職・坊守さんによる縁結び活動の拡大
- ・ 退職した校長や先生を新たに縁結びさんに追加

<職場の縁結びさん>

- ・ 従業員の出会いを応援する「ふくい結婚応援企業」の登録
- ・ 「職場の縁結びさん」による企業間交流会の開催

産前産後安心サポート事業（15百万円）【主要事業P4】

妊娠から出産、子育てまで切れ目ない支援（全国初）

公的支援のない出産後一か月と妊娠期の支援を拡充

県のこれまでの支援（14億円）

- ・新3人っ子応援プロジェクト
- ・小学校3年生までの医療費無料化
- ・育児休業給付金の上乗せ
- ・父親・祖父母の育児休暇等取得促進奨励金
- ・0歳児育児休業応援企業奨励金

妊娠期

出産

出産一か月

妊婦健診 14回

乳児家庭全戸訪問事業（1～4か月）

定期健診（1、4、10か月、1歳半、3歳）

- ・第1子出産後の産院等における医療相談にかかる経費を支援（1人1回上限5千円）
- ・家事支援（すみずみ子育てサポート）の対象を妊娠中に拡充、出産後1か月間は無料化
- ・孫育て講座の実施や子育てマイスターによる子育て支援

病児保育施設送迎サービス事業（3百万円）【主要事業P5】

- 病児を病院等において一時的に預かる支援制度を他県に先駆けて創設済
(本県制度：16年度～ 国制度：20年度～)
- 保護者に代わって病院等スタッフが迎えに行く
新たな支援の仕組みを導入



【病児保育の様子】

病児保育施設へ送迎・保育を行い、仕事と子育ての両立を応援

- 病児保育施設に対し、送迎等に必要な看護師配置などの経費を支援
- 病児保育施設が、保護者の依頼により発熱等した子どもを保育所へ迎えに行く
- 子どもを病院で診察後、保護者が迎えに来るまで病児保育施設で一時預かり

2 高速交通体系の整備促進と整備効果の全県展開

北陸新幹線建設事業（10,128百万円）【主要事業P49】

- ・金沢・敦賀間の34年度末完成・開業を目指し、鉄道・運輸機構が工事を実施



【九頭竜川橋りょう工事】



【新北陸トンネル工事(奥野々工区)】



【新北陸トンネル工事(葉原工区)】

< 28年度北陸新幹線（金沢・敦賀間）の事業概要 >

- ・事業費 90,000百万円（福井県内 50,642百万円）
- ・主な内容 九頭竜川橋りょう工事、新北陸トンネル工事、森田高架橋工事、高柳高架橋工事、用地取得

中部縦貫自動車道整備事業（1,702百万円）【主要事業P50】

- ・永平寺大野道路は28年度の一日も早い全線開通を目指す
- ・大野油坂道路はトンネルなどの工事を進め、県内区間の早期全線開通を目指す



【永平寺IC(永平寺町谷口)】



【轟2号橋(永平寺町轟)】



【轟4号橋(永平寺町轟)】

< 28年度事業予定 >

- ・永平寺大野道路（28年度 全線開通予定）

永平寺・上志比間 工事推進

- ・大野油坂道路

大野・大野東間 調査・設計推進

大野東・和泉間 工事推進、用地推進

和泉・油坂間 調査・設計推進、用地推進

日本最大の戦国城下町「一乗谷ミュージアム」化推進事業（115百万円）

【主要事業P46】

- ・ 遺跡観光のゲートウェイとなる博物館の整備や朝倉氏庭園を再生し、一乗谷朝倉氏遺跡全体をレベルアップ

- ・ 一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）の基本設計
- ・ 中世都市遺跡研究拠点化に向けた調査・研究
- ・ 特別名勝庭園の再生に向けた調査
- ・ 復原町並における生活再現の実施



【朝倉館の一部を原寸大で復元】

第2恐竜博物館整備調査事業（9百万円）【主要事業P45】

- ・ アミューズメント機能を持つ第2恐竜博物館の整備に向け、基本構想・計画を策定

- ・ 基本構想・計画策定委員会の設置、開催
- ・ 民間事業者参画可能性の調査・検討



【恐竜ロボット】

「年縞」活用推進事業（69百万円）【主要事業P26】

- ・ 世界に誇る水月湖「年縞」を教育・観光に活用するため、実物展示をメインとした年縞研究展示施設を整備



【年縞のスケール感を体感できる実物展示】

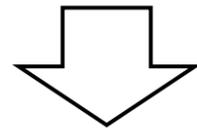
年縞研究展示施設の実施設計

- ・ 環境に配慮し、県産材を積極活用
- ・ 7万年分の歴史を刻む水月湖年縞4.5mを直線的に展示
- ・ 平成30年開館予定

年縞の今後の活用方法等を検討

六呂師高原スポーツ・体験観光促進事業（119百万円）【主要事業P46】

- ・ 来年の中部縦貫自動車道永平寺大野道路の全線開通に備え、スポーツや自然体験機能を強化



- ・ 奥越の観光拠点に

観光客入込数

平成23年 162千人

平成26年 116千人

平成29年 180千人（目標）



【六呂師高原】

＜六呂師高原の冬季・夏季体験メニューの充実＞

- ・ スキー体験エリアの整備、芝そり体験等が可能な芝生広場の整備

＜奥越高原牧場の機能強化＞

- ・ 酪農体験期間の拡大、放牧期間拡大のための簡易放牧施設の整備

＜ミルク工房奥越前の誘客力強化＞

- ・ 奥越高原牧場の搾りたての生乳を利用した加工体験実施

周遊・滞在型観光推進事業（27百万円）【主要事業P46】

- 核となる観光地を中心に「点」をつないで「面」として魅力ある観光エリアを整備

〔平成26年：観光客入込数 1,132万人 観光消費額 876億円〕



- 複数市町が連携した周遊・滞在型観光推進計画策定への支援（1エリア450万円）

3 福井の魅力発信

恐竜を活かした全国PR事業（69百万円）【主要事業P47】

- ・ 本県のダントツブランドの「恐竜」を前面に打ち出した、大都市圏でのプロモーションを強化



【旅行博での出向宣伝】



【恐竜ショー】

<大都市圏でのプロモーションの実施>

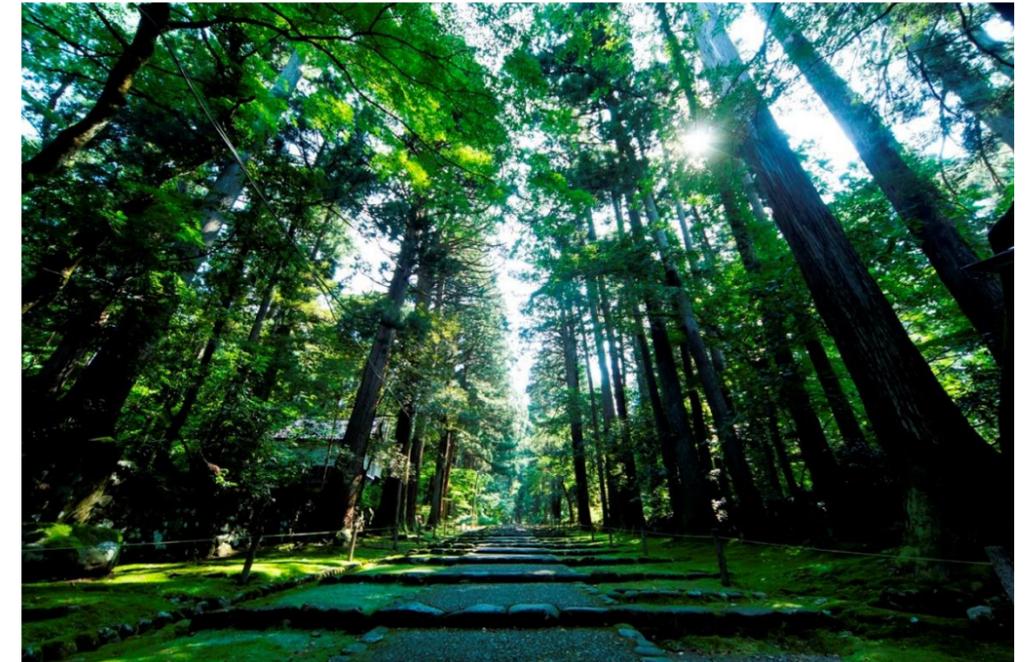
- ・ 北陸三県共同の観光誘客キャンペーンの実施
- ・ 主要駅での大型広告掲出や出向宣伝など首都圏等でのプロモーション実施
- ・ 福井県産恐竜が登場する「動く恐竜ショー」による誘客 等

外国人向け新ブランドによる誘客強化事業（37百万円）

外国人受入環境・情報発信強化事業（19百万円）

【主要事業P48】

- ・ 「ZEN」を中心とした、新たな外国人誘客ブランドを使用し、誘客プロモーションを実施



【「ZEN」のイメージ(平泉寺境内)】

－ 「ZEN」のコンセプト－

- ・ 人と自然との調和
- ・ 癒し、平穏な心
- ・ 余分なものを削ぎ落とし、洗練されたコト・モノ

＜誘客プロモーションの実施＞

- ・ 外国人誘客に向けたブランドプロモーション
- ・ 海外旅行会社への訪問営業等による旅行商品の造成促進 等

＜情報発信および受入環境の整備＞

- ・ 海外に向けた旬の観光情報の発信
- ・ 消費税免税店開設への支援 等

4 T P P 対策

ポストこしひかりの生産・販売対策（30百万円）【主要事業P36】

- ・ 30年度からの本格生産に向けて、現地での実証栽培を拡大
- ・ 販売に向けた商品コンセプトなどブランド化戦略を策定



【現地実証(田植え)】



【現地実証(収穫)】

<生産対策>

- ・ 本格生産に向けた20a規模の大規模実証栽培（4品種×5地区）
- ・ 次年度以降の栽培に必要な種子の生産

<有機栽培等拡大>

- ・ 有機栽培等技術の実証（5地区）

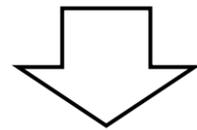
<ブランド化>

- ・ 商品コンセプトやPR手法を策定する戦略会議の設置

九頭竜川下流地域における農業振興（419百万円）【主要事業P36】

- ・ 国営かんがい排水事業の完了

1万2千haの農地にきれいで冷たい水が全面通水

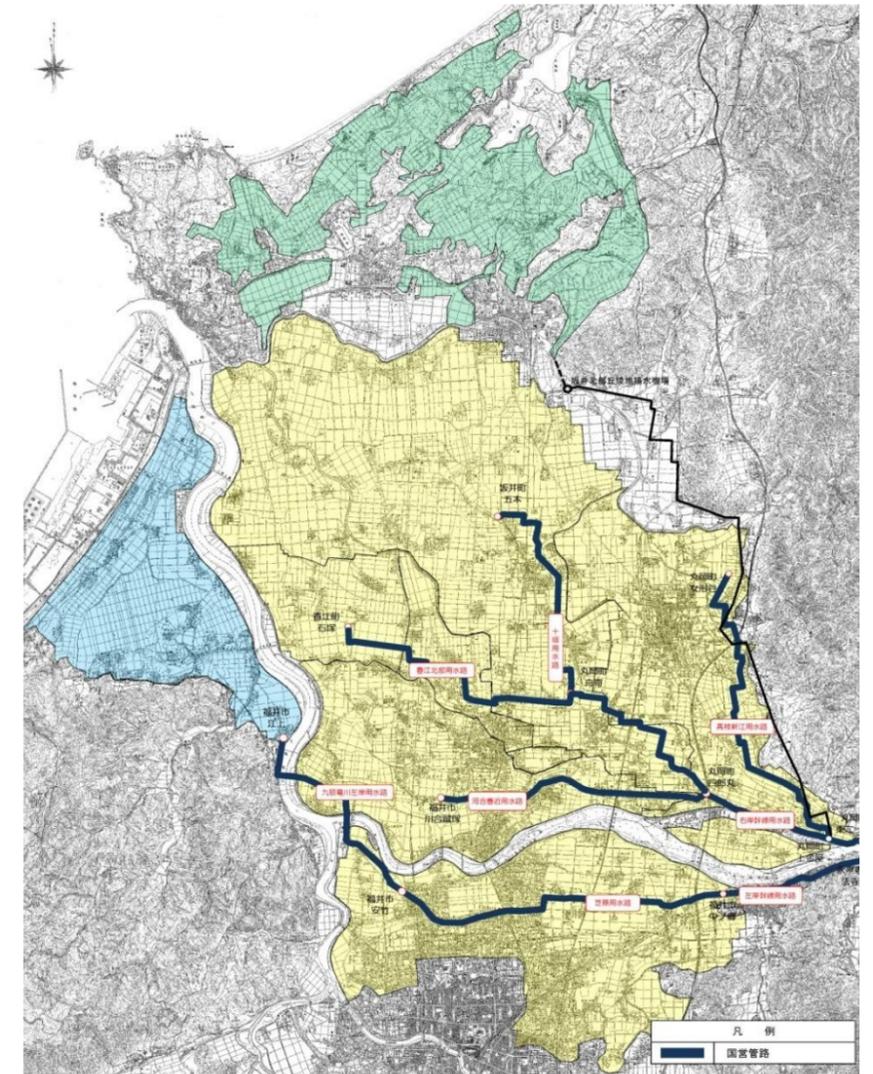


- ・ 日本有数の生産基盤を活かして、収益力の高い農業を展開
夜間かんがいによる高品質米を生産（4,500ha）
メガファーム化による生産コストの削減
園芸の拡大（例：ミディトマト、メロン、ブドウなど）

【販売目標（30年度）】

水田地域 112億円 坂井北部 39億円

三里浜 12億円

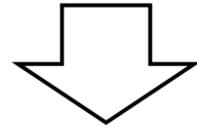


【九頭竜川下流地域全図】

- ・ 100ha規模のメガファーム化を推進
- ・ ネギなど水田に園芸経営を取り入れる集落営農組織の育成
- ・ ミディトマトなどを生産する耐候性ハウスの整備等を支援
- ・ 企業が大規模に園芸生産するための施設整備等を支援

新たな農業ビジネス創出事業（362百万円）【主要事業P13】

- ・ ふくい農業ビジネスセンターの設置



- ・ 里山里海湖ビジネスの担い手、地域おこしのリーダー育成
- ・ 農業者と異業種の交流による新たな農業ビジネスの創出



【ふくい農業ビジネスセンター】

里山里海湖ビジネスアカデミー研修の実施

- ・ 体験農園、農家レストラン、農家民宿等の開業のための研修
- ・ 伝統工芸、観光等とコラボした新たな農業ビジネスを創出する研修
- ・ 中山間地域の活性化を担う請負人の養成研修

研修充実のための施設整備

- ・ 農地造成、園芸ハウス整備、設備の更新

アジア市場への食の輸出拡大事業（26百万円）【主要事業P33】

<新たな販路の創出と輸出の拡大>

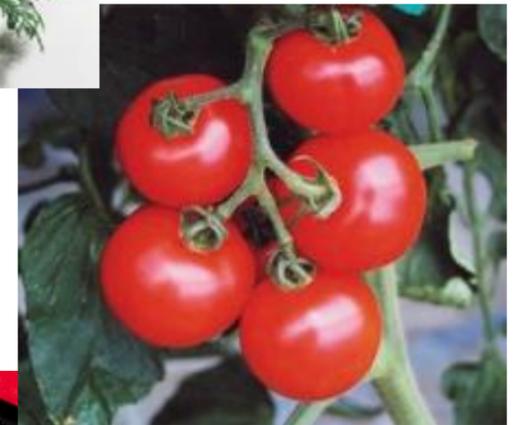
- ・市場拡大が見込まれるアジア諸国に対し、福井の食材や酒、伝統的工芸品等を組み合わせた食文化のPR活動と観光誘客活動を強力に展開

【輸出額目標】

25年度 4億円 ⇒ 30年度 8億円



【越前ガニ】



【越のルビー】



【若狭塗箸】

- ・シンガポール、香港において大使公邸を活用した食文化提案会を開催
- ・台湾やシンガポールの高級スーパー等において物産展を開催
- ・県内でアジア各国のバイヤーとの商談会を開催

定置漁業・底曳網漁業振興対策事業（68百万円）【主要事業P42】

- ・ 主要漁業である定置漁業と底曳網漁業は、
厳しい経営状況
- ・ 定置漁業者および底曳網漁業者の経営改善と
新たな設備投資を支援



【定置漁業】

漁業者に対する経営指導を支援

- ・ 漁業技術や経営力を高める指導研修会の開催
 - ・ 経営診断を実施し、経営改善計画の作成を指導
- 定置網の改良や、底曳網漁船の更新に対して支援

5 突破力のある人材の教育（学力向上対策）

ふるさと教育推進事業（14百万円）
古典学習支援事業（4百万円）【主要事業P8】

- ・ 福井の先人の生き方やゆかりのある百人一首・古文などを掲載した教材を作成し、子どもたちが夢や目標を明確にして将来を考える教育を推進



【橋本 左内】



【由利 公正】



【百人一首を使った国語の授業の様子】

- ・ ふるさとの先人から生き方や考え方を学ぶ教材「ふるさとの先人100人」を作成し、県内の全中学生、高校生に配布
- ・ 福井ゆかりの百人一首や古文などの作品を掲載した「古典音読・暗唱ノート」を作成し、県内の小、中学生に配布

英語力向上事業（132百万円）【主要事業P8】

- ・生徒の「使える英語力」を伸ばすため、英語を「話す」「聞く」ことを重視した授業を実施
- ・小学校の英語教科化の30年度からの先行実施に円滑に対応できる教育環境づくりを推進



【小学校教員英語研修】

<中高生の英語力向上>

- ・中高生のスピーキング試験の受検促進
- ・ふるさと福井を英語でアピールする機会の拡大

<教員研修の拡充>

- ・小学校教員研修の対象拡大
- ・生徒のスピーキング力を伸ばすための英語教員の指導力向上研修

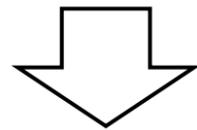
<海外からの留学生の受入促進>

- ・同年代の外国人との交流により、英会話力と国際理解を向上

教育研究所移転整備事業（484百万円）【主要事業P9】

＜教育研究所の機能強化＞

教育研究所を移転し、教員の指導力の向上や
全国トップクラスの学力の発信など機能強化



【退職教員による新任教員研修】

- ・ 教育研究の拠点として学力調査を授業改善に活用
- ・ 小学校英語の教科化や大学入試改革などに対応した指導力を強化
- ・ 不登校、いじめに迅速に対応できるよう教育相談に関する学校の支援を強化
- ・ 福井の教育力を映像、展示等で発信

- ・ 28年3月に閉校となる春江工業高校を利用
- ・ 耐震工事が必要な自治研修所もあわせて移転

28年度 改修工事、施設備品の整備 29年4月 オープン

6 福井しあわせ元気国体・大会に向けた準備の加速化

福井しあわせ元気国体・大会開催準備事業（306百万円）
競技力向上対策事業（808百万円） 【主要事業P53】



福井しあわせ元気国体 2018
第73回 国民体育大会 織りなそう 力と技と美しさ
平成30年(2018年) 9月29日(土)～10月9日(日)

福井しあわせ元気大会 2018
第18回 全国障害者スポーツ大会 織りなそう 力と技と美しさ
平成30年(2018年) 10月13日(土)～10月15日(日)

【国体・大会会期入りロゴ】

- ・ 27年度に福井しあわせ元気国体・大会の会期が決定
(国体：30年9月29日～10月9日、大会：10月13～15日)
- ・ 福井国体での優勝に向け、競技力向上対策をさらに充実

<福井しあわせ元気国体・大会の開催準備>

- ・ 会期決定を受け、配宿・輸送実施計画案の策定や
市町が実施するプレ大会への補助制度の創設

<競技力向上対策>

- [少年対策] ・ 福井国体で主力選手となる高校1年生を中心に強化
- ・ 指導力の高い指導者派遣を充実
- [成年対策] ・ スポジョブふくいによる県内企業と連携した選手確保
- ・ ふるさと選手の福井国体出場確保

7 産業政策

福井経済新戦略の基本戦略

- 1 福井の強みに磨きをかけ、現行の戦略を次の段階に高める
- 2 人口減少社会に対応し、一人ひとりの能力を高め、人を呼び込む
- 3 小さな企業を応援し、地域でお金を回す

<イノベーションの推進>

○産学官金連携技術革新推進事業(62百万円)

- ・県内外の大学、公設試験研究機関、金融機関等と連携して取り組む革新的研究開発を支援
- ・国の開発支援制度の活用など、一体的にサポート

○オープンイノベーション支援資金(200百万円)

- ・中小企業者が研究開発に積極的に取り組めるよう、県制度融資にオープンイノベーション支援資金を創設

<企業の呼び込み>

○企業立地促進補助金(871百万円)

- ・新たに立地、増設を行う県外企業に対して助成し、新規雇用の創出等を促進

○産業団地整備事業補助金(518百万円)

- ・市町の産業団地整備を支援
28年度新規：大野市(28～31年度予定)

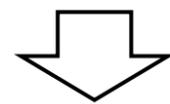
県民衛星プロジェクト支援事業（39百万円）【主要事業P30】

<現状>

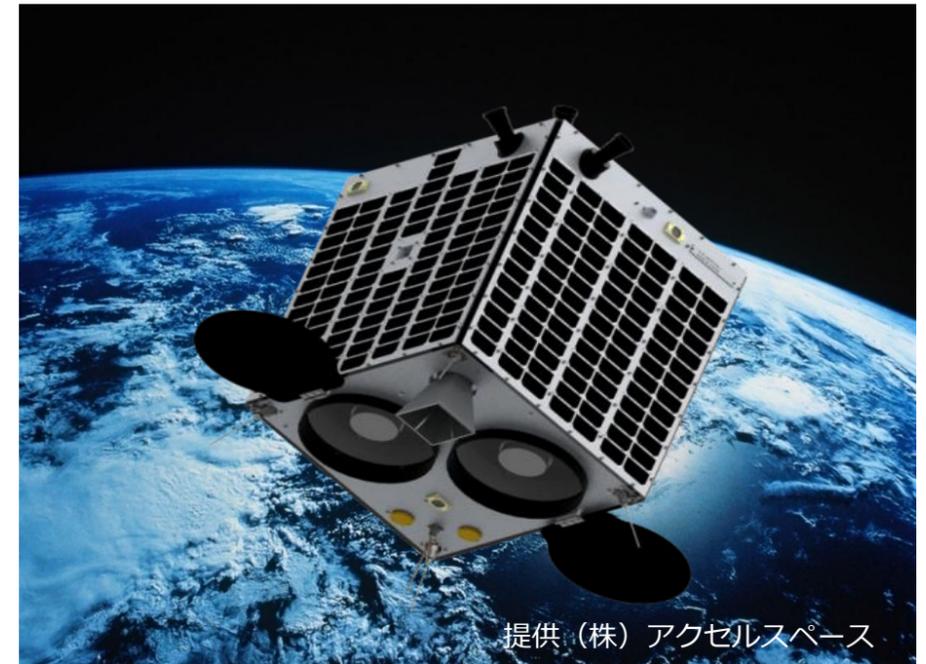
宇宙産業の市場拡大により、人工衛星の製造や衛星データを利用したシステムの開発など、参入の可能性が拡大

<県内企業からなる技術研究組合を設立>

人工衛星の製造や衛星データの活用についての研究・開発を開始（目標：31年度打ち上げ）



- ・人工衛星の製造、利用システムの受注につなげる
- ・子ども達へのサイエンス教育に活用



提供（株）アクセルスペース

【県民衛星イメージ】

- ・超小型人工衛星の設計経費、実際の製造現場への技術者派遣経費を支援
- ・衛星データの利活用検討への協力
- ・製造の場として工業技術センター内にクリーンブースを設置

サンドーム福井ものづくりキャンパス整備事業（401百万円） 【主要事業P31】
伝統的工芸品月間国民会議全国大会開催事業（16百万円） 【主要事業P32】

- ・ 管理会議棟をものづくり産業の振興や人材育成拠点となる「ものづくりキャンパス」として再整備
- ・ 全国の伝統的工芸品や伝統工芸士が一堂に会する全国大会を開催（メイン会場：サンドーム福井）
本県の伝統工芸を国内外に発信し、
認知度向上を図る



【伝統的工芸品】

サンドーム福井の整備

- ・ デザイナー、ものづくり企業向けの実践的な講座を開催
- ・ 3Dプリンタやレーザーカッター等を備えたラボを整備（試作品製作等支援）
- ・ 幅広い実習等ができるエリアや県産品を展示・販売できるエリアを整備

第33回伝統的工芸品月間国民会議全国大会の内容

- ・ 伝統工芸士による製作体験・実演、工房ガイドツアー、商談会
国指定伝統的工芸品および本県の郷土工芸品の展示・販売 等

8 医療、福祉

【2025年：団塊の世代が75歳以上】

『治す医療』 ⇒ 『治し支える医療』

- ・ 高度急性期からリハビリや在宅医療など、患者の状態に応じた適切な医療・介護を提供
- ・ 坂井モデルの全県展開など、住み慣れた地域で暮らせる社会をめざす

・ 「地域医療介護総合確保基金」事業25.4億円により、地域包括ケアシステムの構築や在宅医療等を充実

1	病床の機能分化・連携	6.5	億円	回復期病棟への転換	等
2	在宅医療の充実	1.0	億円	在宅医療提供体制の確保	等
3	医療従事者の確保・要請	5.5	億円	医師の研修・派遣体制強化	等
4	介護施設等の整備	11.5	億円	小規模特別養護老人ホーム	等
5	介護従事者の確保	0.9	億円	外国人など介護職への参入促進	等

がん検診の推進（56百万円）【主要事業P16】

- ・ 胃がんリスク血液検査の導入拡大
職場の健康診断の血液検査にピロリ菌検査をプラスし、簡単に胃がんのリスクを検査できる機会を拡大
- ・ 次世代がん検査の導入準備
国立がん研究センターが血液検査により13種類のがんを発見できる検査システムを研究中
(29年度以降、乳がん検査を皮切りに開始予定)



【血液によるピロリ菌検査】

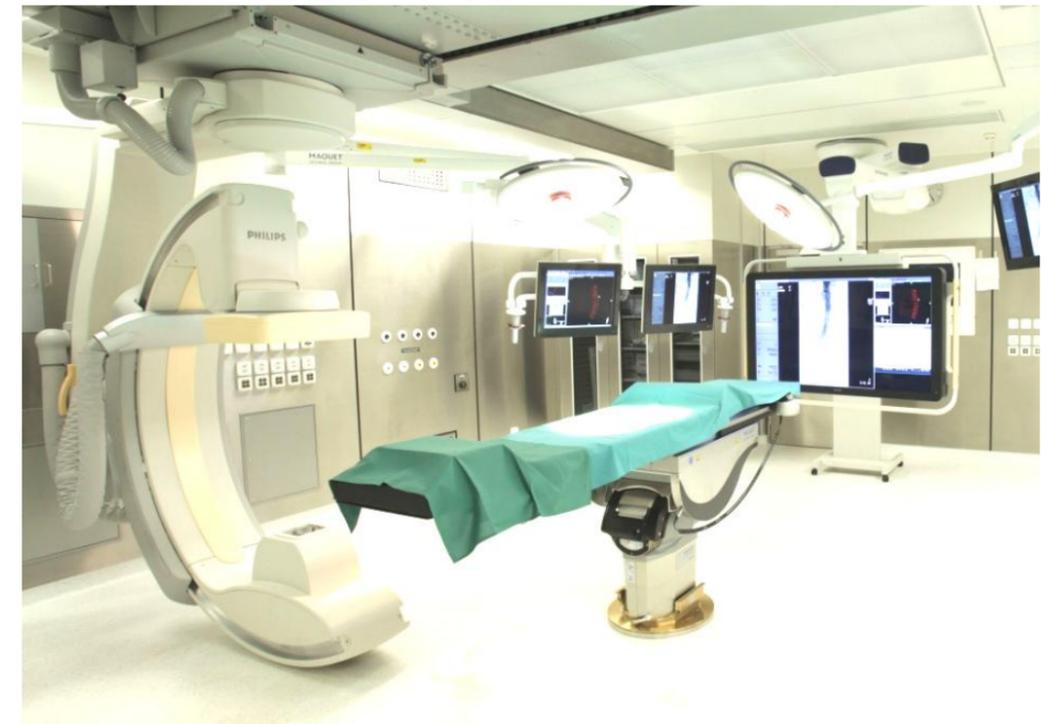
- ・ 中小企業の40歳健康診断時に、血液によるピロリ菌検査の受診費用を支援
- ・ 次世代がん検査について、他県に先駆け導入できるように、県内がん拠点病院での受入体制を検討、整備

血管治療センターの設置（6百万円）【主要事業P17】

- ・ 県立病院に循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科の3科が連携し、あらゆる血管疾患を一元的に診療する「血管治療センター」を県内で初めて設置

県民の疾患別死亡原因

1位 がん 2位 心疾患
3位 肺炎 4位 脳血管疾患



【血管造影装置を配備した手術室】

県立病院へのハイブリッド手術室の整備

- ・ 高精度の血管造影装置を配備した空気清浄度の高い手術室を増設し、外科手術と内科的カテーテル治療（血管内治療）を同時に実施可能な施設を新たに整備

28年度 設計業務 29年度 施設整備 30年度 稼働予定